

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 番地 名称 一般財団法人 津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課
(4) 指定期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 47,975 人 入浴者 47,040 人（市内 43,720 人、市外 2,829 人、マツソ 0 人 他） 施設利用者 935 人（会議室 241 人、ビリアード 261 人、和室 433 人）
(2) 事業の内容	高齢者総合福祉施設として、温泉を利用した地域住民の健康の増進、交流と地域活性化、憩いとやすらぎ及び介護予防の拠点となるための取組みを実施。

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	42,272 千円
	指定管理料	18,679 千円
	利用料金収入	20,154 千円
	継続・再開事業助成金	2,554 千円
	その他の収入	885 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	42,336 千円
	主な支出 人件費	12,429 千円
	需用費	15,779 千円
	役務費	439 千円
	委託料	1,716 千円
	使用料及び賃借料	7,650 千円
	原材料費	3,012 千円
負担金・公租公課	1,311 千円	

4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、アンケートを実施。
----------------	-----------------------------------

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う津山市からの要請に応じて、4月中旬から5月末まで臨時休業し、営業再開後には検温、換気、消毒等の徹底した対策を講じながら、安心安全な施設の管理運営に努めた。 ・近隣のあば温泉と共通のスタンプカードを導入し、施設相互のPRと利用促進を図った。 ・七夕やハロウィン、クリスマス、正月、ひなまつり等の季節に合わせた各種イベントを開催し、子どもから高齢者まで幅広い世代の集客に努めた。また、継続的なイベントとして、毎月26日には風呂の日イベントを開催した。 ・円滑な施設の管理運営を図るため、津山市加茂郷文化ふれあい施設運営委員会を開催し、施設運営等について地域関係者の助言や提案を受けた。 ・自主事業としてめぐみ荘の温泉水を津山市内の2施設に供給した。 ・健康増進や介護予防を目的とした講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大によりすべて中止した。 ・定期的な水質検査（レジオネラ菌等）と配管清掃等により、温泉の安全性を確保した。 ・利用者数および利用料収入について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年度と比べ大幅に減少したが、GoToイート食事券や津山市プレミアム付きグルメ券「うまい券」等のキャンペーンに積極的に参加し、集客に努めた。 ・これらのことから、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先にし、厳しい経済状況が続く中で津山市の協力を得ながら、最良に業務を推進したと評価するが、次年度は、社会情勢も注視しながら、更なる利用促進を図り、施設の設置目的に沿いつつも収支の改善に努めたい。
<p>(3) 市の評価</p>	<p>地域の方々や利用者の意見を積極的に取り入れ、ニーズに対応したイベントの実施、さらに施設の設置目的である市民の健康の増進、交流及び介護予防の拠点施設としての役割を果たすための取組みは高く評価できる。また、地域の方々の意見等を反映する委員会を継続して開催するなど、地域に根差した取組みについても評価できる。新型コロナウイルス感染拡大に伴う、利用者減少にもプレミアム付きグルメ券などに参加し、積極的に集客に努めている。</p> <p>令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、更なる利用促進を図り、収支の改善も含め施設の設置目的が達成されるよう運営されたい。</p>